

充を図っています。

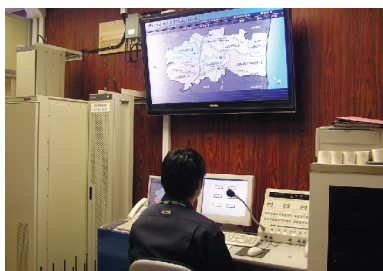
Q 飛行コースと飛行高度はどのように変更になったのですか。

A 総務部長 高度が約1千800メートルに到達し、かつ、騒防法第1種区域の外側に達した場合は、上空で右側に旋回するコースを飛行するという事です。

●防災対策について

Q 津波対策として（仮称）九十九里北部防災道路の早期実現に向けての、現在までの取り組みと実現の可能性について伺います。

A 市長 今回の津波におきまして、九十九里有料道路が津波に対して一定の防御の役割を果たしたと考えています。



緊急放送のテストをしている様子

山武市として、北部に防

災有料、あるいは減災といった方がいいかも知れませんが、そういった役割をもつ有料道路の建設をお願いしていかなければいけないと考えています。九十九里浜の北部の市町と協力をして、早期の実現を図っていくという考え方をとらせていただければと思います。

Q 山武市の防災行政無線の整備状況について伺います。

A 総務部長 現在、山武市全域では119局、地域ごとの子局の数では成東地域70局、山武地域25局、蓮沼地域16局、松尾地域が8局です。

山政研 関連質問



小野崎正喜 議員

●市職員及び行政組織について

Q 山武市となり、今まで何人の職員が採

用されているのですか。

A 総務部長 合計で39名です。山武郡市職員合同採用試験とは別に、任期つきの保育士7名、看護師1名を採用しています。

Q 急激な職員の削減は将来歪みを生じる恐れがあると思うが市の考えを伺います。

A 総務部長 十分配慮しなければいけないと考えています。今後、退職者の増加も予想されますので、年齢構成に配慮して、職員採用に当たっていききたいと考えています。

Q 山武市でも民間企業経験者の採用や民間企業からの出向者の受け入れを考えてみたらどうですか。

A 総務部長 採用した職員の中にも、何年かですが民間を経験した職員もおります。現段階では合併をして、職員数が多いので、目指す行政の規模に一生懸命近づけていますが、これから先はさまざまな形での採用が出てくると考えています。今のところは、年齢

制限を設け、フレッシュマンという形で採用させていただいています。

●教育問題について

Q 教育施設、保育施設等で耐震を含む改修が必要な施設はあるのですか。

A 保健福祉部長 保育所並びにこども園施設で鳴浜保育所が耐震補強が必要という診断がありました。豊岡保育所は耐震基準上は正確な診断は行っていない状況にあります。

A 教育部長 基準改正後に建てられた日向幼稚園とむつみのおか幼稚園は、いずれも耐震診断の対象外です。

Q 少子化やこども園整備事業により、保育所や幼稚園の統合等が図られていますが、現在使われていない施設、また、現在の計画の中で、今後、使われなくなる施設について伺います。

A 教育部長 蓮沼幼稚園が休園中です。今後、こども園化が進むと、成東幼稚園、鳴浜幼稚園、

緑海幼稚園がそれぞれ移転するので使われなくなります。

A 保健福祉部長 保育所では、休園となつていて豊岡保育所、今後、こども園整備事業によつて、成東保育所、緑海保育所、鳴浜保育所を使用しないこととなります。

Q 学校教育施設等に限ったことではありませんが、跡地利用も一連の計画として整備を推し進めていただきたいと思いますが、活用計画、あるいは処分計画はあるのですか。

A 教育部長 空き施設の活用計画、処分計画は、現在、策定されていませんが、鳴浜・緑海幼稚園は、小学校と隣接しておりまして、駐車場とグラウンドに活用したいと考えています。成東幼稚園の跡は成東駅前整備事業との関連等もあり、そちらのほうから検討を加えていきたいと考えています。

A 保健福祉部長 現在、定まったものはござ

いません。考え方として、市の施設としての有効利用に転用できればと考えています。

政策研究会 代表質問



能勢 秋吉 議員

●一般行政について

Q 議会答弁後の検証について伺います。

A 市長 議会の都度、進捗の状況を検証して、庁議の中で、検証をさせています。

Q 職員の採用年齢を上げてはと以前から3回にわたり質問していますが、どのよう検証されているのですか。

A 市長 考えが変わっていないからだと思っています。

Q 以前、行政と企業、また企業間お互いの情報交換の場を設置するようお願いしました。ど